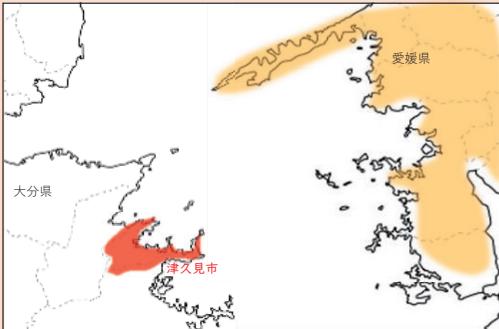


◆津久見市の紹介◆

『セメントとみかんと野球のまち』として知られる大分県津久見市は、県の南東部に位置しており、豊後水道に面した海沿いのまちです。また、津久見湾の湾口部を囲うようにリアス海岸が半島部に伸び、南の四浦半島の延長に保戸島、北の長目半島の延長に地無垢島、沖無垢島の3つの島が浮かんでいます。



<基礎データ>

- 人口：17,969人  
(平成27年国勢調査)
- 総面積：79.50km<sup>2</sup>



◆保戸島の紹介◆



津久見市  
公認キャラクター  
つくみん

津久見港から約14km沖合、周囲約4km、人口約600人の島。明治中頃に始まったマグロ漁業の基地として有名なほか、斜面に3~4階建ての住宅がひしめく景観は地中海を連想させ「未来に残したい漁業漁村の歴史文化財産百選」にも選ばれています。

特産品などに関する情報はこちら



津久見市観光協会HP



「県道612号線」



「マグロのかぶと焼き」



◆郷土芸能の紹介◆

今から約450年の昔、津久見市は大友氏の支配下にありました。当時は戦国時代で、戦没した勇士や農民の供養のために、京舞いの流れをくむ「扇子踊り」ができたといわれています。

扇子の流れも美しい舞姿は実に優雅で、哀歓を秘めており、津久見を代表する郷土芸能として踊り継がれています。

毎年8月下旬に、「津久見扇子踊り大会」が開催されています。



お問い合わせ

津久見市観光協会

☎0972-82-9521

津久見市 商工観光・定住推進課

☎0972-82-9542